

**SPORT  
FOR  
TOMORROW**



**スポーツ庁 長官感謝状  
受章団体紹介**

スポーツ庁長官感謝状授与式  
平成29年7月5日  
新宿NSビル スカイカンファレンス

# スポーツ庁長官感謝状（概要）

## 対象団体：

- ・認定事業受付開始時から2017年3月末までに承認された認定事業を実施
- ・スポーツ庁長官表彰規定及び、長官感謝状の方針に沿う団体

## 表章項目：

### 1. 認定事業で最も多くの裨益者に貢献

政府関係団体については対象外とする。

### 2-1. 多様性を尊重する世界

スポーツは、人種、言語、宗教等の区別なく参画できるものであり、国境を越え人々の絆を育む。スポーツを通じた国際交流により、「多様性を尊重する世界」の実現に貢献する。

### 2-2. 持続可能で逆境に強い世界

スポーツは貧困層や難民、被災者など困難に直面した様々な人の生きがいづくりや自己実現のきっかけとなり、スポーツによる開発と平和への支援により「持続可能で逆境に強い世界」の実現に貢献する。

### 2-3. クリーンでフェアな世界

スポーツは他者への敬意や規範意識を高められるものであり、日本が率先して模範となることで「クリーンでフェアな世界」の実現に貢献する。

2-1～2-3については、第2期スポーツ基本計画の中でSFTが位置づけられている“スポーツで「世界」とつながる！”において強調されている項目。

# “認定事業で最も多くの裨益者に貢献”

受章団体：公益財団法人日本ラグビーフットボール協会

日本ラグビーフットボール協会は、アジアの国々を対象とした「World Rugby & Asia Rugby Performance Development Workshop」をワールドラグビーからの要請を受けてホストユニオンとして開催。裨益者数100,971人を創出した。同協会では、今後、2019年ラグビーワールドカップ開催国として各国との交流を深め、競技力向上に一丸となって務めていくことが期待されている。

## World Rugby & Asia Rugby Performance Development Workshop

実施期間	2017年2月26日～3月4日
実施エリア	日本・茨城
スポーツ種目	ラグビー
支援先	World Rugby、Asia Rugby、Asia Rugby所属ユニオン
協同組織	World Rugby、Asia Rugby
支援対象者数	100,971人(50カ国)



アジア諸国のコーチ、レフリーの資質向上によるアジアラグビーの競技力向上を目指したワークショップ。各国のコーチ・マッチオフィシャル・S&Cエデュケーターが参加し、7人制ラグビーのコーチングやスクラムセッション、クラブカルチャー、コーチングパスウェイなど多岐に亘るテーマを扱い、講義だけでなく、参加者による双方向のディスカッションを行った。参加者はワークショップで得た知識、スキルを自国や近隣諸国へ伝達し、アジアにおけるラグビーの普及・発展に努めていく。

# “多様性を尊重する世界”

受章団体：公益財団法人日本卓球協会、株式会社アシックス、日本卓球株式会社

公益財団法人日本卓球協会、株式会社アシックス、日本卓球株式会社は2015年にモンゴル自閉症協会からの要請を受け、それぞれのリソースを持ち寄ることでモンゴルの知的障がい児への支援を実現。ウランバートルの特別支援学校では、室内でスポーツを楽しむ環境が整い、国際大会へも出場を果たした。「2015のSpecial Olympics World Games」では、見事銀メダルを獲得した。

## モンゴルスペシャルオリンピックス卓球代表チームへの競技環境支援

実施期間	2015年7月～8月
実施エリア	モンゴル
スポーツ種目	卓球
支援先	モンゴルスペシャルオリンピックス卓球代表チーム
協同組織	モンゴル自閉症協会
支援対象者数	1,400人



この支援は、日本卓球協会が、現地NGOである「モンゴル自閉症協会」からモンゴルのスペシャルオリンピックス出場チームへの支援、及びモンゴル国内の卓球環境整備について依頼を受けたことがきっかけでスタートした。株式会社アシックスは、スペシャルオリンピックスに出場するモンゴル代表選手にシューズ、ユニフォーム等を提供。さらに、日本卓球株式会社がこれに加わり、ウランバートル市内にある4つの特別支援学校（生徒数合計約1,400名）に卓球台、ボール、ラケットを提供した。日本卓球協会では、この支援以外にも卓球愛好者から用具を募集し、モンゴル以外の国にも支援を行なっている。

# “持続可能で逆境に強い世界”

受章団体：NPO法人ネパール野球ラリグラスの会

NPO法人ネパール野球ラリグラスの会は1999年より、主にネパールで青少年を対象に野球の普及活動を実施している。2015年にネパールで起こった大規模地震の発生時においては、これまでの活動を通して築いたネットワークを復興支援に活用し、野球大会開催を目標にネパール現地住民の日常生活回復支援や現地医療活動支援等を行った。

## ネパール震災復興支援野球大会

実施期間	2016年4月23日～25日
実施エリア	ネパール
スポーツ種目	野球
支援先	バクタプル・ベースボール・クラブ、ポカラ・ベースボール・クラブ、武装警察
協同組織	ネパール野球ソフトボール協会
支援対象者数	2,000人



ネパールでは2015年4月25日に起きた大地震で甚大な被害が発生し、ネパール野球関係者や選手も家が倒壊するなどの被害を受けた。ネパール野球ラリグラスの会では現地からの要望もあり、被災した野球少年たちを勇気づけるため、現地で野球大会を開催。この大会は当初、昨年12月開催の予定であったが、ネパールの新憲法に関わる混乱で、震災1年目のこの時期に延期された。選手たちは大会を楽しみにしており、試合では笑顔で元気いっぱいのプレーを見せ、大会は大いに盛り上がった。試合の他にもアジア野球連盟の国際審判員による審判講習会や支援者から寄付された野球用具の贈呈も行われた。

# “クリーンでフェアな世界”

受章団体：国際武道大学、セノー株式会社

日本式の運動会を通して、仲間と協力することの楽しさや身体を動かす楽しさを直接届けた。運動会の運営に関しては、現地教員養成学校と国際武道大学の学生が共同で行った。また、セノー株式会社による各種用具の提供、動画教材の提供など、現地での運動会の定着に向けて継続した活動を実施している。

## カンボジアにおける運動会・体育・スポーツ支援活動

実施期間	2017年2月17日～3月1日（毎年度開催）
実施エリア	カンボジア・シハヌークビル
スポーツ種目	運動会、体育、サッカー、バスケットボール、バレーボール
支援先	アヌワット小学校、フンセンカオン小学校、オーチュラウ小学校、ドンボスコホテルスクール
協同組織	セノー株式会社、シハヌークビル州小学校教員養成学校
支援対象者数	590人



運動会を通して、仲間と協力することの楽しさや身体を動かす楽しさを直接届けるため、シハヌークビル小学校教員養成学校と国際武道大学が共同で運動会を運営した。世界遺産アンコールワットのレリーフにもある綱引き（協力：セノー株式会社）は、運動会のメインイベント。現地の学生との共同運営も4年目となり、現地の学生が中心となり運営された素晴らしい運動会となった。また、国際武道大学の学生が運動会を通じた体育授業の定着へ向けて、小学校で体育の授業を実践した他、学習指導案の配付と体育実技の動画（小学校1・2年生対象）を配信した。さらに、運動会の他にも、セノー株式会社が提供したスポーツ用具で、サッカー・バスケットボール・バレーボールを通じた交流を実施した。